

豊小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・「開拓魂」を学校理念（活動テーマ）として、ESDを「かかわり」と捉え、ESDの実践を通して「自分の考えをもち、互いに学び合う子の育成」を目標とした。
- ・①異学年交流（縦割り班活動）を通して、「人とのかかわり」に関する活動や校区に目を向け、探検や見学を通して、「地域とのかかわり」に関する活動を行った。

・活動の実際

① 異学年交流（やまもも班活動）を通して、 「人とのかかわり」に関する活動 （全校児童）

本校では、「やまもも班活動」という縦割り班活動がある。異年齢集団での遊びや集会活動・行事を通して、異学年と交流し協力して活動することの楽しさや大切さを学んでいる。主な活動は、「やまもも班あそび（毎月1回昼休み時間に実施）」「やまもも読み聞かせ（高学年による読み聞かせ）」である。どの活動も6年生が中心となり、計画や進行を行っている。



②探検や見学、校区防災訓練を通して、「地域とのかかわり」に関わる活動

（1年生・2年生・3年生・全校児童）

本校では、1年生が春、秋に公園に出かけている。繰り返し公園を訪れる中で、植物の変容から季節を感じ取ったり、公園を整備してくれている地域の人に感謝の思いをもったりしている。2年生は、町探検で校区のお店や会社を訪問し、がんばって仕事をしている地域の人々の思いを知ることができた。3年生は地域の工場見学や会社見学を通して、本校区から商品やサービスが全国へ、世界へと広がっていることに気づき、地域の人々の努力について学んだ。

毎年11月に、自治会と共同で「校区防災訓練」を行っている。南海トラフ大地震に備えて、校区ごとに避難するところから訓練が始まる。「起震車体験」や「煙体験」、「避難所設営」や防災倉庫にある「資機材」の見学などを通して、「地域の一員としてできることは何か」と考えながら学習をすすめている。

